

## 住民自治協議会だより

第45号

発行 小田切地区住民自治協議会

〒380-0876  
長野市大字山田中2545TEL 026-229-1511 FAX 026-229-2074  
E-mail otagiri-jitikyou@ngn.janis.or.jp

## 令和8年度 小田切住民自治協議会総会

4月17日開催

## 事業計画

## 住自協全体

- ・地域支え合い事業「お互助っ人」の推進
- ・オンデマンド市営バスの移行支援
- ・福祉自動車「ふれあい号」の運営支援
- ・第5回小田切夏まつりの開催
- ・講演会など地区全体集いの開催
- ・地域間交流事業の実施
- ・長野翔和学園の活動協力
- ・「和輪話の会」との協働地域づくり
- ・住自協だより発行

## 総務・安全防災部会

- ・総合自主防災訓練の実施
- ・やまざと支援交付金事業、道路愛護活動
- ・明るい選挙推進と期日前投票の支援

## 福祉・健康部会

- ・「第3次小田切地区地域福祉活動計画」の推進
- ・第6回社会福祉大会の開催
- ・福祉委員会や保健補導員会事業  
高齢者の集い、喜寿祝賀会、健康講座など
- ・サロン事業支援や健康おどりの継承
- ・民生児童委員会の高齢者訪問や見守り活動

## 環境・地域活性化部会

- ・環境整備・美化活動推進及びゴミ集積所整備
- ・農作物の有害鳥獣対策及び地域活性化事業
- ・観光推進事業や環境整備及び文化財保存支援

## 教育・文化部会

- ・地公連、交流センター連携の各種行事の推進  
萬歳学級、スポーツ大会、世代間交流など
- ・社明運動、人権啓発活動など住民集会の開催

## 住自協団体の改編

## ■ 保健補導員会（福祉・健康部会）

- ・役員は選出せず、福祉・健康部会が役員を兼務
- ・健康講座や運動講習会など関連団体と連携して開催

## ■ 小田切遺族会（福祉・健康部会）

- ・事業活動を7年度休止しており部会退会

## ■ NOSAI部会（環境・地域活性化部会）

- ・NOSAI部長推薦困難にて市組織廃止

## 住自協会長挨拶

小池 文男



皆さんこんにちは、4月に開催された小田切地区住民自治協議会総会に於いて住民自治協議会会長という重責を担うことになりました深沢区の小池文男です。

前会長の竹内さんから「小田切を元気に」の合言葉を引き継いでいきたいと思っております。少子高齢化が進む地区に歯止めをかけて、自然豊かな小田切に移住者を少しでも増やせればと思います。新役員さんと共に創意工夫をしながら取り組んでいきたいと思っております。最後に小田切地区の皆さんのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

## 人事異動

## ● 西部保健センター小田切担当保健師

新任 久保田美里<sup>みのり</sup>  
退任 橋詰 香（芹田担当へ）

## ● 小田切住自協

新任 事務局長 竹内 勝（5月1日付）  
退任 事務局長 柳澤厚史（4月30日付）

## 令和 8 年 度 一 般 会 計 収 支 予 算

### < 収 入 >

公的補助金	市いきいき運営交付金	6,083,000
	地域福祉推進事業	1,450,000
	福祉のまちづくり事業等	160,000
負担金	各区負担金	1,000,000
	団体負担金等	128,700
繰入金	団体会計繰入	0
雑収入	募金事務費等	71,442
繰越金	前年度繰越	1,166,858
収 入 合 計		10,060,000円

### < 支 出 >

事業費	総務・安全防災部会	970,000
	福祉・健康部会	2,429,000
	環境・地域活性化部会	587,000
	教育・文化部会	790,000
運営費	事務局費	4,245,000
配分・委託費	各区配分、団体補助等	389,000
繰出・積立金	特別会計、基金、積立金	550,000
予備費		100,000
支 出 合 計		10,060,000円

### 区長



### 住自協役員



## オンデマンド市営バス「小田切・七三会線」運行

18年半走行した「かつら号」から移行 ▶▶▶ 4月1日から



篠ノ井村山車庫待機

小田切と七三会地区を運行区域としたオンデマンド市営バスが4月1日から運行開始しました。予約先が住自協からバス予約センターに替わり利用者番号を伝えること以外、停留所や乗車、乗り継ぎなどは「かつら号」と同様です。多人数乗車で同一停留所の乗降に限り、代表者が同乗人数を伝えれば予約できます。運賃はKURURUやSuicaの利用が便利です。

乗合タクシー「かつら号」はバスのない地域の足確保として平成19年9月3日に始まり、当初は会員制で区内固定5コースをデマンド方式で週3日の定時走行で、タクシー会社に予約し路線バスに乗り継ぎました。平成30年4月2日から新「かつら号」となり停留所を全集落に設け、ルートや時間を定めず運行するフルデマンド方式となり、住自協が予約受付、配車しタクシー会社にFax。令和6年4月1日から路線バス川後線が廃止となって西裾花団地線に替わり、「かつら号」の運行は週5回となりました。

乗り継ぎの鬼無里線、高府線、新町大原橋線の3路線も同日アルピコ交通から市営バス移行になりました。

## 令和7年度 喜寿祝賀会 3月2日

喜寿祝賀会は3月2日、妻科の「テラスグランツ」で開催。対象は昭和23年4月2日以降生まれの学年度男10名、女4名の14名で5名が出席しました。総勢26名で祝賀会が行われ、式典では「うたレレながの」のウクレレ演奏と祝賀会食で盛り上がり、記念品に防災対応のライト付携帯ラジオを贈りました。



記念品



令和7年度

# お茶のみサロン活動

令和7年度お茶のみサロンは10区14グループが活動し、活動の総回数は57回、参加総数は459人。最多開催回数は11回、1回の参加人数は半数が5～7人でした。



三組サロン



裾花する会

No.	サロン名	区名
1	深沢サロン	深 沢
2	上組平	〃
3	吉窪さくら	吉 窪
4	下宮野尾	下 宮
5	三組サロン	上 宮
6	上山田中	上 山
7	結いの会	下 山
8	原っぱ	〃
9	国見りんごサークル	国 見
10	国見サロン	〃
11	湯山サロン	〃
12	千木	千 木
13	地藏平やまぶきの会	地藏平
14	裾花する会	裾 花

## 地区自慢大会「おらほの自慢 聞いとくらえ」

市民協働サポートセンターまんまるが主催した住民自治協議会の第2回地区自慢大会が、2月26日に市役所講堂で行われ約60名が参加、12地区住自協が発表しました。小田切は令和5年10月の第1回自慢大会に続き、柳澤厚史事務局長が地区の概要、「和輪話の会」「お互助っ人」事業、「寄って家'S」に集まる仲間たちの紹介や今後の新たな活動と展望を発表。後半は数名の班に分かれ一緒にやってみようことなど話し合い交流しました。

**小田切地区住民自治協議会**  
「帰ってきた！おらほの自慢聞いとくらえ!!」

令和8年2月26日

**地区の概要** 令和8年2月1日

- ・総面積 18.42km<sup>2</sup>
- ・人 口 716人
- ・世帯数 391世帯
- ・高齢化率 59.4% (425人)
- ・4大字、11行政区
- ・45集落が点在
- ・意外と近い山間地

## 長野翔和学園 成果発表会

長野翔和学園の7年度成果発表会が3月20日改善センターで行われ、活動作品の展示や部活発表があり、日方の東屋に訪れる人が気楽に寄れる憩いの場の看板「九憩」も披露され、これは支所発支援金を活用しました。午後は成人式と修了式、卒業式がありそれぞれに抱負を発表し祝福されました。



部活発表



「九憩」看板

## 巡礼桜観桜会

巡礼桜観桜会は暖かい春風と桜舞う中、巡礼桜保存会主催で10名が参加し開催されました。



4/16

## 小田切オアシス 市民菜園 開園式

13年目を迎えた市民菜園、募集は1区画約70㎡～210㎡で38区画、使用料は年間45円/㎡です。



4/17

## 令和7年度「二十歳の門出を祝う成人式」

1月11日市芸術館

小田切、第3～5地区、芹田、古牧、三輪、浅川、若槻の9地区7公民館合同成人式が行われ、対象者は951人で661人が出席。小田切地区は西部中学校区の3名で、住自協から卓上ガラスフォトフレームを贈りました。



## 第38回 和輪話の会

4/27



前回までのアイデアの具体化に向け、参加メンバー27名を4グループに分け検討。主な内容はイスづくり計画、支所自販機付近の整地、富士山が見える山の整備、外部団体との新たな関わりなど。

### 長野市農業委員 選出

農業委員 齊藤 弘之 (国見)

農業委員は小田切と芋井で1名が交互に改選、今期は小田切地区から選出。任期は令和8年3月2日～11年3月1日。

#### カレンダー

松ヶ丘  
保育園  
より



#### 体験活動写真



#### 錬成センター どんど焼き復活

1/12



#### 小田切運動場 整備

4/15



#### マレットゴルフコース整備中



中学校グラウンド

#### 福寿草群生 国見

3/27



#### 巡礼桜 満開

4/10



#### 野うさぎ 衣更え

3/30



やまびこ

この冬は日本海側の豪雪、太平洋側の少雨と乾燥は記録的。上越高田の積雪は平年の1.5倍で150cm超え、となり町はその昔「これがまあ終のすみかか雪五尺」一茶。栄村森宮野原駅の積雪7.85m記録は超有名。一方、関東から西日本はダム底が見える30年に一度の少雨にカラカラ乾燥で山林火災が多発し長期延焼した。長野市も林野火災注意報発令が続き、野焼きは原則禁止だが要注意して。